

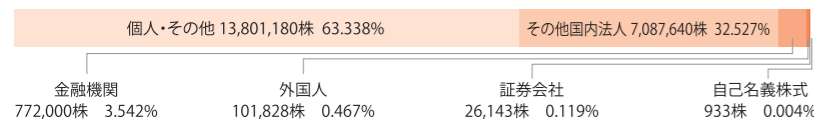
【株主様へのお知らせ】

株式の状況 (2019年6月30日現在)

発行可能株式総数 59,400,000株
発行済株式の総数 21,788,791株(自己株式 933株除く)
株主数 15,106名
大株主

株主名	当社への出資比率	
	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社エム・ケー	2,190,000	10.05
株式会社M's	2,188,722	10.05
株式会社イケヤ	1,920,000	8.81
メディアスホールディングス従業員持株会	1,196,504	5.49
梅澤 悟	454,300	2.09
栗原医療従業員持株会	425,500	1.95
池谷 保彦	424,604	1.95
野田 了子	396,900	1.82
アルフレッサホールディングス株式会社	382,800	1.76
永田 幸夫	361,260	1.66

所有者別株式分布状況



株主メモ

決算期 6月30日
定時株主総会 毎年9月中
基準日 定時株主総会:6月30日/期末配当金:6月30日/中間配当金:12月31日
その他必要がある時は、公告の上設定します。

証券コード 3154
株主名簿管理人 名称:日本証券代行株式会社
 所在地:東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
 郵便物送付先:
〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
日本証券代行株式会社 代理人部
 電話照会先:0120-707-843

公告の方法 電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって
電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に
掲載して行います。

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部
1単元の株式数 100株

MEDIUS
G R O U P

株式会社秋田医科器械店
〒010-1423 秋田県秋田市仁井田字中谷地130番地2
<http://www.akitaika.co.jp/>

株式会社栗原医療器械店
〒373-8557 群馬県太田市清原町4番地の6
<https://www.kuribara.co.jp/>

株式会社メディカルバイオサイエンス
〒373-0012 群馬県太田市清原町1番地の10
<https://www.mbs-mk.co.jp/>

イーバスメディカル株式会社
〒112-0004 東京都文京区後楽一丁目4番25号 日教販ビル6階
※株式会社ネットワークは2019年10月1日より、社名・住所が変わります。

株式会社ケアフォース
〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目1番1号 八重洲ダイビル1階
<http://www.careforce.jp/>

メディアスソリューション株式会社
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町一丁目8番4号 陽友神田ビル6階
<https://healthcaresolution.jp/>

協和医科器械株式会社
〒422-8005 静岡県静岡市駿河区池田156番2
<http://www.kyowaika.co.jp/>

株式会社オズ
〒422-8034 静岡県静岡市駿河区高松二丁目23番39号
<http://oz-m.co.jp/>

株式会社ミタス
〒918-8556 福井県福井市問屋町四丁目901
<https://www.mitas-inc.co.jp/>

ディーセンス株式会社
〒920-8213 石川県金沢市直江東一丁目6番地
<http://d-sense.co.jp/>

石川医療器株式会社
〒920-8213 石川県金沢市直江東一丁目6番地
<https://www.ishikawamed.co.jp/>

ひとへ。いのちへ。信頼へ。

MEDIUS
HOLDINGS

メディアスホールディングス株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目1番1号 八重洲ダイビル3階
TEL.03-3242-3154 FAX.03-3242-5016
<https://www.medius.co.jp/>

最新のIR情報はこちら

メディアスホールディングス

検索

株主通信

2018年7月1日 ~ 2019年6月30日

www.medius.co.jp

MEDIUS VISION



医療に明日を。
人に未来を。

MEDIUS
HOLDINGS

メディアスホールディングス株式会社

**医療環境の変化を先取りした営業力と、
どんなときも命を守る供給網の確立を事業の基盤に。
医療が進めば、明日が変わります。**

2025年を目標に据えた国の医療構造改革により、地域医療機関の再編が現実的なものとなってまいりました。各医療機関はより質の高い医療と効率経営という、相反する課題への対応を迫られております。

かねてより当社グループは、医療機関それぞれのニーズに即した業務効率化ソリューションや、品質重視の低価格PB商品などを、自社ブランド「アソース」として統合展開しており、多くの医療機関から信頼をいただいております。引き続きこの分野には重きを置いて取り組み、まず高度急性期医療機関から選ばれる企業グループとなることで、グループ全体の経営基盤を強化していく方針です。

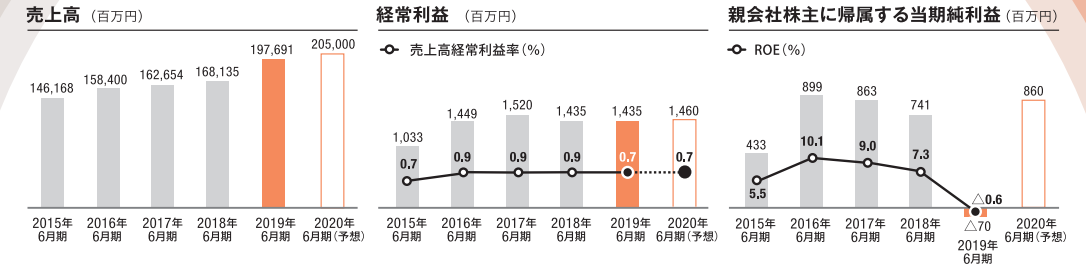
他方、持続可能な医療・福祉の実現に貢献することは社会的使命ともいえます。地域医療への貢献を理念とする当社グループでは、国連が掲げるSDGs(持続可能な開発目標)の趣旨に賛同し、社業の様々な側面で我々ができることを追求しております。例えば、災害時に備えたBCP(事業継続計画)は、事業利益に関わらず不可欠と考えており、物流センターの更なる整備も「止まらない医療」を実現するための取り組みのひとつです。また例年、地域の皆様に医療に親しんでいただきたいという思いから、医療体験イベント「メディメッセージ」を開催しています。

こうした社会貢献度の高い取り組みは一朝一夕に成し得るものではなく、これらを実現するためのグループ社員の生産性向上や、働きやすい業務環境改善と合わせて一歩ずつ着実に成果を挙げていかなければなりません。地域医療の中核を担う医療機関の健全な存続発展のために、明日の地域医療を支える、質・量ともに圧倒的ナンバーワン・サプライヤーを目指してまいります。

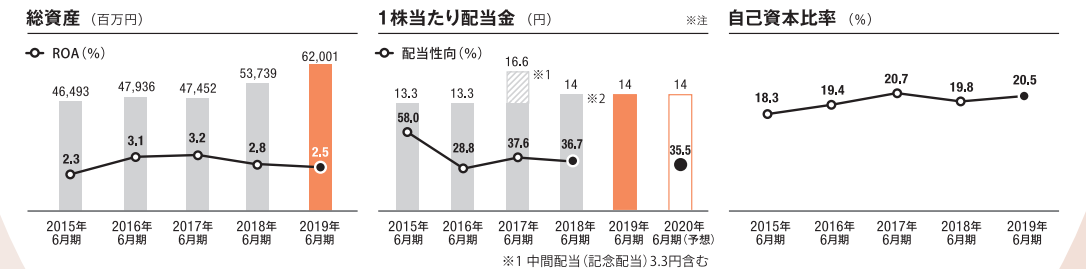
メディアスホールディングス株式会社 池谷 保彦
代表取締役社長

財務情報

【損益の状況】



【財政の状況】



2019年6月期の1株当たり配当金は14.0円となりました。

親会社株主に帰属する当期純損失	1株当たり配当金	配当性向
70百万円	14.0円 ^{※2}	—

株主様向け優待

株主1単元(100株)以上保有の株主様		
1年未満	1年以上3年未満	3年以上継続保有
クオカード1,000円分	クオカード2,000円分	クオカード3,000円分

※2 注) 当社は2016年10月1日付をもって普通株式1株につき2株、2018年4月1日付をもって1株につき3株の割合で株式分割をしております。なお、1株当たり配当金は当該株式分割による影響を考慮しております。

1

明日への取り組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

様々な活動を通じて 持続可能な社会の実現に貢献しています。

あらゆる地域のあらゆる患者様に最適な医療機器・用品をご提供できる環境を目指して、メディアグループ各社の力を結集し、シナジーパワーを発揮してきました。その志は国連サミットで採択された「SDGs(持続可能な開発目標)」にも合致しています。一方、未来の医療人材育成支援や福祉基金などの地域貢献活動にも力を注ぎ、SDGsが目指す未来を実現していきます。詳しい活動の内容はHPでご紹介してまいります。

どんなときも医療材料の安定供給を続けるために BCP(事業継続計画)

地震や台風、豪雨豪雪など、大災害が発生しても医療の手を止めないためには医療材料の継続供給が欠かせません。当社グループでは昭和50年代から防災体制を医療に携わる企業の使命と捉えてきました。東日本大震災発生時には直ちにBCPを策定、現在は今後予想される首都圏大地震などに備えてマニュアルの見直しを図るとともに、ハード面でも災害対応を進めています。現在1万数千点の在庫を保有する神奈川県内の首都圏物流センターは、災害発生時の交通遮断り



非常用電源設備



フロア下に設置された防震ダンパー

首都圏の多数の医療機関に医療機器・材料を安定供給する首都圏物流センター。災害時にも止まらない供給体制を構築しています。

明日を担う子どもたちに医療とふれあう機会を メディメッセージ

協和医科器械とオズでは、地域の皆様に医療従事者の方々や本物の医療機器とふれあう機会を提供するイベント「メディメッセージ」を毎年開催しています。9回目となる2019年は「医療がわかる。未来がみえる。」をテーマに静岡市で開催。行政や医師会の後援もいただきながら医療に関心を持つ子どもたちの育成に貢献しています。



子どもたちが医療と出会うきっかけ作り

膨大な器材・材料を一元管理し手術室の業務を効率化 手術室情報共有システム 「MORISS」

例えば整形外科の手術では、症例に合わせて数百〜千点近くの医療器材が必要となります。医療現場ではこれまで個人の記憶や経験に頼った準備をしておりましたが、当社グループではデジタル化を推進、準備かつ使用する医療器材データを一元管理し手術室と共有化を図ることで、より安全性を高めた手術室の運営に貢献しています。



医療現場のデジタルトランスフォーメーション



2

明日への取り組み



ASOURCE

自社ブランド「ASOURCE (アソース)」で 医療現場に求められる高品質と高効率を 具現化しています。

ASOURCEとは、「明日の」「リソース」の意味を込めた、メディアスグループのプライベートブランドです。他に類を見ない医療業務効率化ソリューションから、汎用性の高い医療材料まで独自に企画開発し、様々な形で医療の現場を支えています。

 :シンボルマークについて

ASOURCEのイニシャル「a」を虫眼鏡に見立て、医療機関やその患者様が求めるものをきめ細かく追求する姿勢を表現しています。

ASOURCE [SELECT]

医療材料の中でも、使い捨ての検診用シーツや舌圧子、検査用カップなど、大量消費を要する汎用品を中心としたPB商品を展開しています。商品開発に当たっては、当社の品質基準をクリアした国内外の工場もしくはメーカーと共同で、ユーザの声を反映させたコストパフォーマンスの高い商品を追求し、既に多くの医療機関で採用いただいています。



ASOURCE [DATABASE]

医薬品には全ての商品を網羅するデータベースが存在しますが、医療材料には同様のものがなく、医療従事者によって商品の呼称すらまちまちなのが実状です。そこであらゆる医療材料、医療機関で使用する雑品、備品を網羅したデータベースを独自に構築。即時更新体制を整え、登録情報の充実も図り、最も信頼性の高い情報ソースの確立を目指しています。



ASOURCE [SOLUTION]

メディアス手術室情報共有システム「MORISS」をはじめ、手術室の業務支援・請求漏れ防止を図る手術室運営支援プログラム「SURGELANE (サージェルーン)」、物品物流在庫管理システム「SPD」「STORE」といった独自開発のソリューションツールを駆使し、病院経営の課題を解決、地域医療への貢献を果たしております。

ASOURCE [TIMES]

変革を求められる医療機関の皆様に様々なナレッジを提供する季刊ニュースレターです。先駆的な取り組みを進めるドクターのインタビューから、医療現場の課題解決に向けた実例レポートまで、病院経営に役立つ最新情報を提供しています。当社グループのユーザ各位にお届けしている他、当社webでも一部掲出しています。

アソース ソリューション ツール

 MORISS

 SURGELANE

 SPD

 STORE



アソースタイムズは
HPよりご覧
いただけます。

